

働きやすさの追求

社会福祉法人

スマイリング・パーク

特別養護老人ホーム
ほほえみの園を取材!

施設長が入社した当時（今から十数年前）、退職者が多く職員の介護技術にもばらつきがあり日々の仕事をこなすことに精一杯。入居者さんと向き合う時間がとれない、体力的にも辛い状態が続いていた。そんな状況から今・・・。

ICT導入で変わる働き方

○時に食事・○時に入浴・○時に排泄等々、入居者さんの1日の日常記録を記入。
時間が足りないよ～ああ、今日も残業かあ。

介護記録ソフトの導入で日々の記録を簡単入力。インカムをつけてスマホはポケットに入れたまま、取り出してタップしなくても、その場で、入居者さんのお名前と介助の内容を声に出して発話するだけで言葉を読み取り記録。

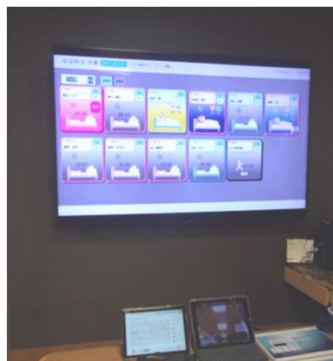


職員同士の連絡・情報共有もできる。



壁に設置した見守り機器はミリ波レーダー搭載により、ベッド上だけでなく、部屋全体の見守りができる。映像は覗き見ができないようにし、入居者さんのプライバシーに配慮。転倒等、もしもの事故などの際には、保存されたデータを見て検証ができる。また、呼吸状態や座位・臥床状態も可視化が可能。

夜間、入居者さんの様子を確認するために、一部屋一部屋、確認。異常はないようだけど、本当に大丈夫かしら？不安・・・。



そんな見守りの仕方を変えるのが、この安心安全見守りシステム。入居者さん達の体動、離床はもちろん心拍、呼吸をモニター画面で確認ができる。

入居者さんからのナースコール！具合が悪いのかなあ？それとも用事があるのかしら？早く状況を確認したいのに、部屋に行くまでわからない。

ナースコールシステムの導入により、呼出時は、居室状況の映像が確認できる。

お部屋についています



ナースコール

状況確認

頭に装着することで、ワクワク度・好き度・ストレス度・鬱度・快適度を可視化。コミュニケーションが難しい入居者さんの状態確認や食の好みの変化、職員の夜勤勤務のストレス度等を確認することで、シフトなどの調整に活かすことができる。



入居者さんの入浴介助を複数の職員で協力。
「せーの、いち、に、さんっ」で入居者さんを持ち上げると、アイタタ・・・腰が痛い。

施設では移乗用や入浴用のリフトを配置し、肉体的な負担を軽減。



立ち上がりや歩行の難しい入居者さんには、電動シャワートローリーを使用し、入浴ができる。



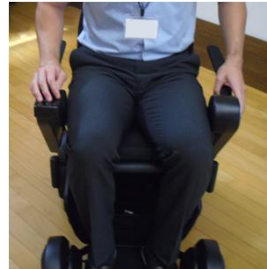
入浴用リフトは浴槽までスライドし、浴槽に浸かることができる。

「これをすぐ持っていかなきゃ」と思いつつも、仕事をしながらだつて後回し。結局、忘れちゃってたあ。

届けたいものをすぐに届けてくれるのが猫型配膳ロボット。1段で10kgまで載せることができます。職員が重い物を持ち運ばなくて済みます。



一緒に歩くことは、「横に並び顔を見ながらおしゃべりをする」そんな当たり前のことができるようにする電動車イス。



車イスの手元ボタンとレバーで移動が可能。

スマイリング・パークの今

現在、職員の平均年齢は38才（18才～73才）。

ICT導入により、1人ができる仕事が増え、残業が減少。余剰が無い適正な人員配置とシフト時間の調整ができている。有休取得の平均は13日、今年度の新卒入社は3名。

ICTを導入する際は

メーカーさんから事前資料をもらい全体に見てもらい、試しに使ってみる。意見を出し合いながら購入するかを決める。**資料だけを見て購入することはない。**導入後も現場の意見を聞きながら、機器の入れ替えを行っている。

ICT導入の決め手は、いつだって**現場の意見！**

今は、メーカーさんに「もっとこうならないの？」

「もっとこうできないの？」と、より働きやすい環境を創っていけるICT機器について改善・提案を伝えています。

採用には困っていません♥

ICT導入で最初に導入するならば、日常記録などが簡単にできるもの。他の色々な機器と繋がっているものがオススメ！

若手職員さんに話をきく

< Hさん（スマイリング・パーク）

7/19（金）

どうして介護の仕事をしたと思ったんですか？

人と接する、人と向き合う仕事をしたいと思ったからです。保育士も考えていましたが、スマイリング・パークを見学した結果、応募を決めました。

応募の決め手は何だったのでしょうか？

見学の時に対応してくれた方がとても優しくしたことと、職員同士はもちろん、入居者さんと職員さんの仲がとても良さそうだったことです。ここなら楽しく働けそうだと思います。

ズバリ、介護業界が人材を獲得するためには何から取り組めばいいと思いますか？

話しやすい・相談しやすい環境を整えて、みんなが働きやすい職場にすることが大切だと思います。

高校（普通科）を卒業後、スマイリング・パークに就職したHさんは今年、介護福祉士の資格取得に挑戦するそうです。「働きやすさの追求が、職員一人一人のモチベーションを上げている。」彼女と話していてそう感じました。